



# 「こんにちは 市長です」

5月20日号

4月いっぱい「平成最後の…」と、決まり文句がテレビも新聞も、チラシまでも躍っていた。上皇さまの人气がその日まで沸騰していた。自然災害の多い30年であったが、その時々の上皇さまの取られた姿勢が国民を皇室に近づけさせたのである。そして5月に入ると一転して「令和新元号記念キャンペーン」である。「令和初の…」が連休中どこでもずっと、であった。巨人ー中日戦を見ていると坂本の「令和初」本塁打をアナウンサーが絶叫していた。スーパーでもケーキ屋さんでも「令和初」売りでにぎわった。2日は市立太田高校に県内外の24校が参加して「令和初」の「フレンドシップ in おおた」が開催された。ソフトボールの大会である。この日は快晴、キャッチャーに校長先生に座ってもらって「令和初」の始球式をやった。打たれるまで続く始球式である。3日間、校庭に元気な若人の声が響き渡った。

その帰り、喫茶店に立ち寄り松本清張の『昭和史発掘3』を一気に読んだ。「満州某重大事件」張作霖(ちょうさくりん)が乗った列車を爆破。太平洋戦争の引き金になった事件、昭和3年のことである。当時の田中首相は宮中に参内して詳細な報告をした。陛下は「十分な処置がとられることを期待する」と陸・海軍大臣に仰せられたが、首謀者は軽い処分が終わった。この宮中方面の政治的介入が逆に軍部を痛く刺激し激しい反感を持たせたのである。昭和天皇は終戦を迎えるまで軍部との軋轢(あつれき)でご苦労されたのである。

象徴天皇となった上皇さまは近しく国民に寄り添った。そして「令和」がスタートした。5月1日、市役所では「婚姻届」の受け付けをした。94組の「令和初」の新婚さんが誕生した。おめでとう、お幸せに！！